



創立 70 周年を祝う会



杉並区立東原中学校 令和元年度 11②月号

教育目標

自 主

感 性

共 生

11 月 13 日 『創立 70 周年を祝う会』 —お祝いの言葉—

校長 小松 進一

暦の上では冬となり、校庭の木々も緑色から黄色へと変化の速さを感じるこの頃となりました。本日、本校『創立 70 周年を祝う会』を挙行するにあたり、大勢の御来賓の皆様、保護者の皆様の御臨席を賜り誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

本校は昭和 24 年に杉並区立杉並第九小学校の 2 つの教室をお借りして東原中学校が開校し、この度、創立 70 周年を迎えることになりました。

創立当時は、開校式も入学式も杉九小の講堂をお借りして挙行され、1 年生 95 名が入学いたしました。翌年には、2 年生がそのまま杉九小に残り、新 1 年生は杉並区立杉森中学校の 2 教室をお借りして 1、2 年生別々に授業を受けました。その年の 8 月に、現在の校地に 8 教室のみの第一期校舎が完成し、杉九小より 2 年生、杉森中より 1 年生が協力して引越をしました。当時の生徒たちは、校舎が完成され心の底からふるえる様な歓喜に満たされたと記録が残っています。本校から巣立った卒業生も平成 30 年度で 10,928 名を数え、保護者や地域の方々には東原中学校の卒業生も多く、学校を愛し、地域を愛していらっしゃる皆様に支えられ、生徒と東原中学校は育ってきました。

東原中学校は昭和 46 年に新入生より制服（厳密には標準服と言いますが）が廃止され、私服の学校が始まりました。生徒の服装については、学校教育の範囲なのか、家庭教育の範囲なのか、その在り方について長い時間をかけて議論し、制服の廃止、いわゆる服装の自由化が誕生しました。当時から東原中には自由な校風があり、この私服化も「責任に裏付けされた自由」というものを目指す理念から出たものではないでしょうか。

また、この年には、木造校舎を鉄筋に改築するにあたり、校舎東側の 2 本のケヤキが切り倒されることになったのですが、春の若葉や秋の紅葉にみんなの心を潤してきたケヤキの保護を生徒会が中心となって訴え、残すことができました。実は 1 本は校庭南側に移植されたのですが、一年余りで枯れてしまったそうです。しかし、もう 1 本は現在も残っています。これをきっかけに、『杉並区みどりの条例』が制定され区内の緑を『守り、ふやし、育てる』ことになったと言われています。

さて、現在の東原中学校を見てみますと、多くの学校では、卒業式や入学式で、委員会などの一部の生徒に分担して準備をしていますが、別れや出逢いなどの心が動く季節を全校生徒で大切にしていくために、卒業式から入学式までのすべての活動のスタッフを在校生から募集したボランティア・進級準備委員会が中心となって行っています。活動の内容は、1、2 年生から 3 年生に送る受験応援メッセージ、卒業生や新入生の教室を飾る装飾、卒業式や入学式の会場設営、受付、新入生の教科書準備、新入生の案内などです。このボランティアは実に在校生の 90% を超える生徒が参加しています。

また、混声四部合唱による東原中学校校歌合唱は、ピアノ伴奏のないア・カペラです。生徒たちは、互いの歌声を意識しながら自信をもってうたっています。この自信は、音楽の授業を真剣に受けるだけでなく、3 年生が 1 年生に合唱指導することや各自がどの学校にも負けない校歌への愛着をもつことで生まれています。

これらは、東原中学校 70 年間の歴史の中の一例に過ぎませんが、生徒たちは、教育目標に掲げている①自主（すすんで学び、自ら考える人になろう）②感性（豊かな心を持ち、たくましく生きる人になろう）③共生（互いを尊重し、共に高め合う人になろう）をもって活動してきました。これからも、この教育理念のもと、『自由と責任』の校風を継承・発展させ、新たな歴史と伝統を育んでいきたいと考えております。

最後になりますが、今まで本校を支えていただいたすべての皆様に心より感謝申し上げ、今後とも生徒たちの健やかな成長のために一層のご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。お祝いの言葉といたします。

『創立 70 周年を祝う会』生徒代表の言葉

3年 小泉 隼人

令和元年となった今年、本校は新しい時代の幕開けとともに、70年の節目を迎えました。御来賓の皆様とともに参加できていますことを、心よりうれしく思っています。

本校は1949年4月5日、杉並第九小学校講堂にて開校し、1971年4月に制服から私服に変わり、「自由」な校風に舵を切りました。現在は、「自由と責任」を校風として、「先生と生徒との心地良い距離感」「挨拶が盛ん」など、よき伝統が脈々と受け継がれています。その70年という長い歴史をもつ東原中の生徒であることを誇りに思うとともに、この素晴らしい伝統が今後も続くようこれからも頑張っていきたいと思えます。

私たち中学生は、まだ大人の方から見ればまだまだ子どもですが、普段の学校生活では、先輩に対しての礼儀や「自由と責任」を軸とした自主性を重んじ、一人一人が学校生活に励んでいます。先日行われた東原中の3大行事の一つである合唱祭では、どのクラスも金賞を目指し、朝練習や放課後練習に励んでいました。私たち3年生は、受験勉強で忙しくなる中、最後の行事を悔いなく終えたいという気持ちがありました。その思いの中、一人一人がクラスのために行動することができました。その結果、3年生としての歌声を披露して、合唱祭を大いに盛り上げることができました。スポーツ面では、原中ソーランがある運動会の成功をはじめ、運動部の部員が増加し、都大会に出場する部活もあり、日々積極的に活動して学校を活気づけてくれています。文化面では、伝統でもあるボランティア活動が盛んです。また吹奏楽部は、地域行事参加や大会でも活躍しています。行事での看板作成をしてくれている美術部、生け花を学校に飾ってくれている華道部も学校生活において大きく貢献してくれています。また、私は、生徒会長として他のメンバーたちとともに、この学校の中心として活動しました。今では新たな代が引き継ぎ、私たちの代わりに、この学校を引っ張ってくれています。このように、東原中に通う214名一人一人のやる気と意識の高さがあるからこそ、たくさんの活躍を生み伝統を守ることができると思えます。東原中学校は、ここで立ち止まらず、今よりもさらに良い学校となるよう進んでいきます。「自由と責任」という校風を軸とした素晴らしい伝統、それらを次の世代に繋げるためにも一人一人がより高い意識をもち、学校生活を送り続けていきます。

最後になりましたが、普段から東原中を見守ってくださる地域の皆様、本当にありがとうございます。皆様のおかげで、この東原中で安心して学校生活を送ることができています。時にはご迷惑をおかけしてしまうこともあるかとは思いますが、「東原中って、とても良い学校だよな。」と思われる学校を目指していきます。皆様には、これからも東原中学校と我々生徒を、引き続き見守ってくださるようお願い申し上げます、生徒代表の言葉とさせていただきます。

令和元年 11月13日

